

INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL
50

2017

INVITATION 創刊50号記念

特集

創刊から50号までを振り返って

DOCTOR'S VOICE 01

お互いにフォローされ、フォローすることが、当科の共通認識

DOCTOR'S VOICE 02

互いに刺激しあうことで、Win-Winで密な連携を



創刊から50号までを振り返って

平成17年7月29日にINVITATION1号を発刊してから12年の歳月を経て、記念すべき50号を発刊するに至りました。INVITATIONでは、愛媛大学医学部附属病院の最新情報を発信しており、医療関係者だけでなく患者さんからも好評を得ています。これからも100号、200号を目指して、当院の医療情報を発信していきたいと考えています。



INVITATION 1号発行からの附属病院の変遷

平成 17年 7月 29日	INVITATION1号発行
11月 21日	災害拠点病院として指定
19年 1月 31日	地域がん診療連携拠点病院として指定
3月 22日	保育施設「あいあいキッズ」を開設
5月 1日	附属病院3号館竣工
23年 5月 23日	患者図書室「ひだまりの里」設置
11月 1日	先端医療創生センター設置
24年 4月 2日	当院キャラクター「あいちゃん、だいちゃん」登場
25年 3月 15日	附属病院新外来棟竣工
11月 1日	総合診療サポートセンター設置
26年 3月 31日	ホスピタルパーク開園
11月 1日	救急科設置
27年 1月 1日	形成外科を設置
4月 1日	羊膜バンク設立
28年 3月 1日	総合診療科を設置
3月 18日	「愛モール」改修工事竣工（附属病院1Fコンコース）
4月 14日	第一種感染症指定医療機関として指定
10月 1日	難病医療拠点病院として指定
29年 2月 1日	愛媛県原子力災害拠点病院として指定
3月 3日	(財)日本医療機能評価機構による病院評価 (3rdG:Ver.1.1) を認定取得
12月 1日	INVITATION50号発行



あいちゃん(右)、だいちゃん(左)



外来棟



ホスピタルパーク

女性医師の活躍

お互いにフォローされ、フォローすることが、当科の共通認識

麻酔科蘇生科 助教 藤井園子
助教 北村咲子

麻酔科蘇生科は女性医師が多く、総勢32人中、14人が女性です。大学院生等を除けば半数以上が女性で、そのうち6人の女性医師が子育て真っ只中です。

当科の方針で、子育て中や結婚した女性医師を当院に集中し、母集団を大きくしたこと、同じ境遇の医師が増えました。それにより互いの立場がよく理解でき、協力し合う環境ができています。子育てが落ち着いた医師は、科の協力があって今まで頑張ってこられたから、次は自分が頑張ることで後輩らが働きやすい環境にしたいと考えます。お互いに融通し合い、自分ができるときは自分が頑張り、できないときはお願いするということが科の共通認識になり、今も大事にされています。

科の協力体制は整っていますが、私たちが医学部1~2年生の女子学生と交流するマドンナ会では「家族を抱えて働くことはできるけど、本人次第であり、楽なことではない」と伝えています。結婚や子育てと専門医資格取得の時期が重なり、焦る医師もいますが、資格は何年かけて取得してもいいと思います。これからは、後輩らが自己的キャリアについて、長期的な視野で考えられるような体制作りに努めたいです。



PROFILE

写真右／ふじいそのこ◎愛媛大学医学部卒業後、愛媛大学麻酔科入局。県立南宇和病院、国立成育医療センター、県立中央病院を経て、平成20年から現職。趣味は友人と食事すること。座右の銘は「朝は来る」

写真左／きたむらさきこ◎愛媛大学医学部卒業。同年愛媛大学麻酔科入局。その後県内病院数カ所の勤務を経て、平成17年より愛媛大学に勤務。1年間の育児休暇を経て、現在に至る。娘は院内保育所「あいあいキッズ」の一二期生

FROM VIP DOCTOR

愛媛大学医学部附属病院に期待すること『VIP DOCTOR に聞く』

互いに刺激しあうことで、Win-Winで密な連携を

社会医療法人 石川記念会 HITO病院 病院長 石川賀代

附属病院と当院の医療連携は今年で6年目になります。人材育成や地域医療に貢献するため、附属病院と積極的に交流をしています。

当院の人材育成の要は、医学部の「地域医療再生医学講座」です。当院に本講座のサテライトセンターがあり、当院の脳卒中センターで久門良明教授、人工関節センターで間島直彦教授の診療が受けられます。両教授が附属病院同様、指導医の立場で診療されることで、後進の育成と多職種の集うチーム医療に貢献していただいている。また、初期臨床研修病院として愛大出身の先生3人が当院で学んでいます。若い先生の研修は、地域医療を支える点でも、若手を地域の病院で育てるという人材育成の点でも、非常に意味があると考えます。地域で学んだことを、附属病院に戻ってからもそれぞれの専門分野で活かしてもらいうことができれば、当院から附属病院への恩返しにもなります。

医療技術者や事務スタッフの交流も活発です。今年9月の耳鼻科開設時には、附属病院の看護師や事務スタッフ等に応援していただき、多様な人事交流ができ院内の活性化にも繋がりました。今後もさらに連携を強め、共に取組むプロジェクトを増やしていきたいです。



PROFILE

いしかわかよ◎1992年東京女子医科大学卒業、2002年医療法人槻愛会石川病院に入職。内科医長、副院長を務め、2010年に理事長、病院長に就任。趣味は映画鑑賞とゴルフ。座右の銘は「常に前進あるのみ」

愛媛大学医学部附属病院 トピックス

お気軽にご相談ください

緩和ケア講習会を開催



平成29年7月1日(土)、2日(日)に緩和ケア研修会を開催しました。厚生労働省は、本研修会を定期的に開催し、がん診療に係わるすべての医療従事者に、緩和ケアに関する基本的な知識、技術を習得させるよう明示しています。

今回、医師や看護師、薬剤師等が参加し、身体症状や精神面を学ぶ講義、がん告知のロールプレイなど、さまざまなプログラムを実施しました。参加者からは「患者さんの立場や気持ちを考えることができた」などの感想がありました。

総務課企画・広報チーム ☎089-960-5943

指導医講習会を開催



平成29年7月29日(土)、30日(日)、当院にて卒後臨床研修指導医講習会を行い、当院を含む県内の医師46人が参加しました。当講習会は、研修医を指導するために必要な知識や能力を有する指導医を養成することを目的としています。参加者は、グループワークや講演をとおして、指導医のあり方や役割、臨床研修の問題点や対応について学びました。参加した医師にとって、研修医により良い指導をするための有意義な講習会となりました。

総合臨床研修センター ☎089-960-5098

サマーコンサートを開催



平成29年8月3日(木)に開催された今年のサマーコンサートは、愛媛大学教育学部音楽専攻の学生が、歌と演奏を披露しました。学生の演奏に合わせ、当院のマスコットキャラクターあいちゃん・だいちゃんもダンスを披露し、会場は笑顔と手拍子に包まれました。「たなばたさま」や「ふるさと」の演奏では、患者さんも一緒に合唱し、楽しいひとときを過ごすことができました。

医療サービス課
☎089-960-5099

編集後記

誌面でご紹介のとおり、当院広報誌INVITATIONは創刊50号となりました。今回の表紙は50号を記念し、1号の表紙(本誌中面参照)と同様に病院長と看護部長を撮影しました。病院の形も人も時代と共に移り変わっていますが、過去のINVITATIONが、その時代を思い出すきっかけとなってくれればと考えています。これからもINVITATIONは、タイムリーな当院の情報をお届けしていきます。

今回は、麻酔科の女性医師を取り上げ、当院に期待することをHITO病院長にお伺いしています。是非ご覧ください。

朝夕の冷え込みが強い時期となっていました。体調など崩されませんよう、皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

広報委員会委員長 高田清式

◎表紙
病院長 三浦裕正
看護部長 久保 幸

リレー・フォー・ライフに参加



平成29年9月2日(土)、3日(日)に開催された第8回リレー・フォー・ライフ・ジャパンえひめ2017に当院も多職種で参加しました。

リレー・フォー・ライフは、「がん患者は、24時間病気と向き合っている」という想いを共有し支援するために、夜通し歩き続けるイベントです。当院の参加は8年連続の8度目で、患者さんやご家族への想いを込めて、たすきをつないで最後まで歩き続けました。

総合診療サポートセンター ☎089-960-5261

来年度の新人研修医・看護師を募集



当院では、安心安全な医療を提供するためには、今年も優秀な人材を県内外から募集しました。研修医には、当院だけでなく愛媛県で広く活躍する人材に育ててもらえるように、アイ(愛)プログラムという研修プログラムを用意し、様々な基本的診療能力を身につけられるよう工夫しています。今年もたくさんの応募があり、来年4月には約100人のフレッシュな研修医と看護師を迎えることができそうです。

総合臨床研修センター ☎089-960-5098



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 ☎089-964-5111(代)
ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>